

広 報

きたうら

No.218

昭和56年3月

発行・編集／茨城県行方郡北浦村役場

人口と世帯数

3月1日現在

人 口 11,271(+20)

男 5,605(-3)

女 5,666(+23)

世帯数 2,572(+1)

子どもの健全育成は集団的な あそびから



村子連主催による「ゲーム」講習会が、要小学校体育館（2/28）において実施されました。
テレビやお金が子どもの遊び相手の昨今です。身近で簡単にできるゲーム遊びも忘れがちです。お父さん・お母さん、手をとりあつて子どもさんと遊び、親子の対話をしましょう。

……毎月一回地区内の神社清掃をするかたわら、手づくりの「つえ」や「菊苗」を近隣の老人や希望者に無償で提供したり、菊づくりの指導を行うなど、うるおいのある地域づくりに大きな役割を果たしています。……

本村からは、宮城源之助（行戸）さんがほう賞を受けられましたので、活動の内容を紹介します。

「バラ賞」は、県が毎年実施しているほう賞で、各地域の団体や個人がコミュニティに根ざした住民の新しい生きがい、地域や近隣社会等の連帯など、豊かな郷土づくりのために地道な活動をしている場合に贈っているものです。



宮城源之助さん
「バラ賞」を受賞

私たちの手で住みよい

生活環境をつくろう

この集会は「真の豊かさを求める県民集会」として、昭和五十一年から県内九ブロックに分け各市町村から推せんされた会議員（60名）で地方県民集会を開いています。

集会のねらいは、従来の県民からの要望とそれに対する行政側の対応という行政参加形態から、県民が相互に地域の課題について話し合い県民（地域住民）自からができるものと県や市町村のやるべきことを明確にして真に豊かな発展・方向をみいだすことを目的にしています。

今年の鹿行地方県民集会のテーマは

①霞ヶ浦、北浦の水質汚濁に伴う浄化方向



▲意見発表する「内田」さん

②道路添の空カン投げ捨て対策等の生活環境美化――私たちの手で住みよい生活環境をつくろう――と決定して、自分たちでできるものは何か、

行政側が対応すべきものは、また、条例等で義務づけの必要性について集会及び鹿行各町村の自主会を重ね、二月二十一日大野村公民館で竹内知事を囲み第三回の鹿行地方県民集会を開きました。

本村からは、石崎哲志（行戸）さん・内田秀治（繁昌）さん・武田一枝（小幡）さん・小林幹明（三和）さんの四名が出席、各町村の会議員から粉石けんの使用運動・家畜ふん尿の液肥利用・道路のクリーン作戦などの実践活動と具体的対策の提起がありました。

本村から、内田秀治さんが意見発表をしました。意見を要旨してみました。

道路・河川の清掃作業は、以前に実施していた「道ぶしん」制度を、現在の条件に合った形（農村のコミュニティの形態）で行政、住民一体で考える。――現在主要道路

水質浄化を条例で対応

昭和五十六年度の県の三大プロジェクトは、①科学博・

②射撃場跡地の利用・③霞ヶ浦、北浦の水質浄化対策である。知事は、各町村の会議員の意見発表に對して、水質の浄化については「チッソ・リン」の削減を基本に、①下水道の整備 ②粉石けん、無リン洗剤の使用推進 ③工場排水の規制 ④家畜ふん尿処理の指導強化 ⑤家庭排水の処理対策などを重点に官民一体で進め、条例による規制の対応。また、空カン対策についても有償回収方を現在検討している旨を明らかにしました。

人権擁護委員に

倉川光輝さん

（再任）

任期満了にともなう「人権擁護委員」に倉川光輝さんが二月十五日付で法務大臣より委嘱されました。

人権に関する問題で困りの方は、遠慮なく相談してください。

秘密は絶対に守られます。

倉川さんのお宅は

内宿九七六

倉川光輝

五三八四



茨城県田園都市建設作文コンクール

井川良一君・三席に入賞

人間生活にとって理想的な環境整備と豊かな農村の地域社会づくりをめざして、田園建設事業は着々その成果をあげつつあります。

これらについて、こどもの目を通して集落（部落）の内側よりとらえかえすと同時に、次代を担う世代への理念の継承をはかるため、作文コンクールを行いました。

入賞作品を紹介します。

中学生の部 三席

僕の田園都市に

かける夢



三年 井川良一（成田）

僕達の部落の田園都市センターは昭和四十七年に創立さ

れた。わが村では最初の竣工である。以後、各部落に田園都市センターが建設された。現在わが村には三つある。それも年々増えつつある傾向である。

ある日家の人に僕は「建設されてからどうゆうような変化が見られたか」と言うことを聞いてみました。するとまず最初に挙げられることが「生活の環境が年々変化してきた」ということでした。そのことは僕の目で見ても本当のことだと思えます。たとえば田園都市事業で道路が整備され、街灯がつき、いろいろなものが建てられていることだと思えます。

こうして年々生活環境が変化していけば、よりよい暮らしが送れるようになると思えます。

次に聞いたのが「一人一人の生活が毎日、非常に充実してきた」と言うことです。前

まで田園都市センターが作られるまではあまりいろいろな行事がなかったからだと思います。

その中でも毎年行なわれているものという、研修視察があります。この研修視察はいろいろな人たちが、いろいろなものを研究するのに見て回ることです。

僕は、この研修視察は、田園都市事業に大きく貢献していると思えます。

次に村全体のことでおとなの人に聞いてみました。そうして「村全体の姿が田園都市センターが建設されてから、変わってきた」と聞きました。これから感じるのは、田園都市事業だけでなく、村全体の人が努力しているからだと思えます。これから見て村の人たち、部落の人たちの、田園都市センターにかけている期待というものは、絶大なものだと思えます。

また僕は田園都市センターというものは、村全体の・部落全体のシンボルとなっているようです。これから、どんどん増えつつある田園都市センターに、僕は期待を

かけないではいられません。

僕達の村は、全体的に見ると湖や川などが多い村だと思えます。そういった環境の中で年々田園都市センターがふえつつあるということは、わが村にとっては非常に良く、また必要なことだと思っております。そうしてどんどん田園都市センターというものが各集落に建設されれば、北浦はやがて大きな発展をとげることだろうと思えます。そうして僕達が二十一世紀の人間として将来、田園都市センターの事業に大きく貢献すれば、この事業というものは僕にとつては、生涯忘れられないような思い出となると思えます。

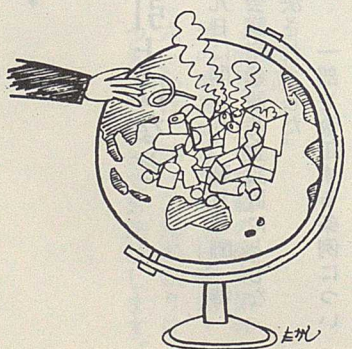
今までの事柄を具体的にまとめてみると、一つ目に、田園都市センターがこの村に増加しつつあるということです。

そうして、二つ目は、田園都市センターが出てきたからの部落や村の一部の環境が道路のほそや街灯などが建てられて変化してきたということです。また、三つ目は、田園都市センターが増加するにともなう村全体の資源や生活環境が大きな発展をなしとげ

るかもしれないということだ。こういった地域社会の向上をはかるには人民の努力が重要視されてくると思えます。田園都市建設の最大の根拠としては、社会づくりをよくするということだと思えます。現代のこうした生活環境の中で田園都市センターのしめる割合というものは非常に大きいものだと思います。今後の課題としては、排水処置の問題などがあります。以上述べた事柄が僕の「田園都市センターにける夢」です。

これからの「田園都市事業」の活躍を期待して終りにしたいと思います。

みどりの地球はただ一つ汚すのを止めましょう



新学期まであとわずか。
新入学児童をお持ちのご家庭では、期待に胸をふくらませながら、入学の準備になにかとお忙しいことでしょう。
お子さんの入学にあたって忘れてはならないことの一つに、交通ルールの「しつけ」があります。

いままでは、比較的家の近所で遊んでいた子供たちも、学校に通うようになると、その行き

帰りを初め、新しい友だちもできるなどして、行動範囲はしだいに広がっていきます。

ここで気をつけなければならぬのが、交通事故です。

毎年、この時期は、新入学児童の交通事故が目立ちます。

親子で語ろう交通ルール！

入学の前に、正しい交通ルールについて、いま一度親子でよく話し合いましう。



▲4月から1年生
きょうは婦人警官のおねえさんと道路の歩き方のおべんきょうです。

臨時会 議員報酬 特別職給料引上げなど

第二回臨時議会が二月十九日に開かれ、議員報酬、特別職給料の引上げ及び庁舎会議室建設基金設置にともなう補正予算など八議案が可決されました。

■議案第1号
土地改良事業計画概要について（団体営農道整備事業長沢地区の認可申請のため）
土地改良法第九六条の二の第二項に基づき、事業認可申請のため提案され議決されました。

■議案第2号
北浦村役場庁舎会議室建設基金設置条例の制定について
現在庁舎内には大会議室がなく、種々の会議等において不便をきたしているため、将来建設を目的として基金を積立てるため提案され議決されました。

■議案第3号
北浦村議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の
■議案第4号
北浦村特別職の職員で常勤のもの給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
■議案第5号
教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
議案第3号・第4号・第5号は、行方郡特別職報酬等審議会の答申と郡内各町が改正されるため、これに準じて改正するため提案され議決されました。

子供の行動特性を知ろう

子供を交通事故から守るには、まず子供の行動の特性をよく知ることが大切です。そのいくつかをあげてみますと
□子供は一つのことに気が向くと、まわりのものが目に入らなくなる。ボールが道路にころがり出すとつい走り出すのもそのためです。

□ものごとを単純にしか理解できない。いつでも、黄色い小旗をあげると車は必ず止まると思いきみがちですが、車は急には止まれません。

□「あぶないよ」とか「注意しなさいよ」という抽象的な言葉だけでは、具体的な行動と結びつけて理解することがむずかしい。

□信号無視をしている大人や年上の子供を見るとすぐまねをしたり、自分で状況を判断しないで大人や年上の子に依存しがちで、人の流れにたよって信号もみないで横断歩道を平気で渡ったりすることが多い。

□応用動作ができない。例えば、いつも通る道路では交

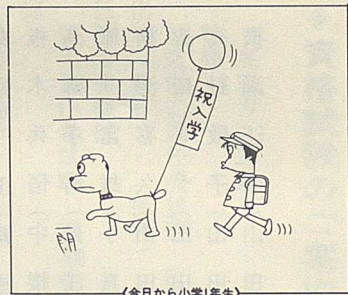
通ルールを守ることができても、別の道路ではそれができないことが多い。
□物のかげで遊ぶ傾向がある。例えば、空のダンボールに入ったり、車のそばで遊びたがる。

（お母さんへ）

登校前はゆとりをもって

子供のいるご家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気をつけましょう。

- ◎出かけるときにしっかりと
- ◎忘れものをさせない。
- ◎通学時間にゆとりをもたせる。



（今日から小学1年生）

子供は、しかられるとそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなります。

また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをして途中から引き返したりすると、非常にあわてるため注意力が散漫になり、事故のもとになりますから注意しましょう。

一方、車を運転される方は、こうした子供の行動特性を十分理解して、子供を見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましょう。

区分		改正前給料月額	改正後給料月額
村	長	488,000	535,000
	助役	390,000	413,000
	収入役	370,000	393,000
	教育長	345,000	378,000

区分		改正前報酬月額	改正後報酬月額
村議会議員	議長	168,000	190,000
	副議長	152,000	166,000
	常任委員長	147,000	161,000
	常任副委員長	144,000	158,000
	議員	143,000	157,000

■議案第6号・第7号・第8号
昭和五十五年北浦村一般会計・簡易水道特別会計・老人福祉センター特別会計補正予算について

議員報酬や特別職の給与改定及び、公用車の購入、庁舎会議室建設基金の積立等のため提案され議決されました。

○一般会計：総額十九億三千八百一十九千円（五千三百九十九万五千円を追加）

（訂正）
前号、三項掲載の議案第9号の職員給与の引上げ率四・六％は、四・二％の誤りにつき、訂正してお詫びします。

○簡易水道：総額一億一千五百七十七万四千円（八千六百

第八回・村芸術祭の入賞 作品や状況をお知らせします

- ◎民舞大会 七十二舞
- ◎民謡大会 九十四曲
- ◎吟詠剣詩舞大会 九十七吟
- ◎俳句大会
- ◎いけばな展 三十四点
- ◎盆栽展 六十三鉢
- ◎保育園、幼稚園、小中学校美術展(絵画、版画、書道) 百八十六点
- ◎写真 二十八点
- ・一席「川辺の女」伊藤泰(山田)
- ・二席「石上の女」清水仁(内宿)
- ・三席「西浦の夕景」斎藤勝利(繁昌)
- ・三席「日本髪」石川春夫(玉造町井ノ上)
- ・「霞ヶ浦」
- ・人見偉策(吉川)
- ・「帆」横瀬喜則(山田)
- ・佳作「お面」根本正義(行戸)
- ・「晩秋」一条善恵(小幡)
- ◎絵画 八点
- ・一席「鉢梅」沼田正(三和)
- ・二席「蓼科」矢口力(繁昌)
- ・三席「シャンペンのある室」河野徳子(三和)
- ・佳作「おけさ踊り」保坂とみ(内宿)
- ・「明日に向けて」飛弾昭夫(両宿)
- ◎書道 十九点
- ・一席「唐詩」横瀬喜則(山田)
- ・二席「唐詩」久保田亘(山田)
- ・「唐詩」大久保富雄(内宿)
- ・三席「祝賀の詞」山崎進由(小幡)
- ・「五言句」土子文江(山田)
- ・「唐詩」松信昌栄(吉川)
- ・佳作「柔和健遜」斎川実(成田)
- ・「唐詩」森崎興正(三和)
- ・特別賞「和歌一首」米沢光吉(次木)
- ・「五言句」福田エイ(南高岡)
- ・「水戸八景」高柳昇(長野江)
- ◎手工芸 五十八点
- ・一席「龍」伊原勇(次木)
- ・二席「文化刺しゅう」高柳繁(小幡)
- ・「文化刺しゅう」倉川芳子(内宿)
- ・三席「浮世絵」清水和代(内宿)
- ・「文化刺しゅう」平野照子(内宿)

スポーツの結果

■マラソン大会

第四回のマラソン大会が二月十一日に行なわれました。砂ほこりが舞うたいへん風の強い日でしたが、悪コンディションにもめげず全員完走し完走証明書が与えられました。

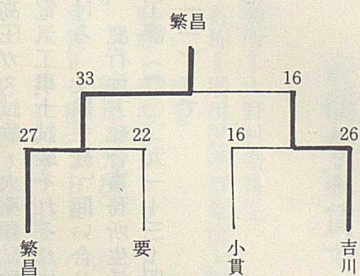


■バスケットボール大会

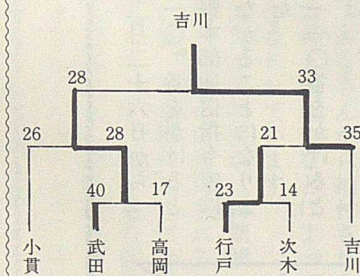
二回目を迎えたバスケットボール大会は、予選を勝ち抜いた男子六チーム、女子四チームが決勝トーナメントを行ない、男子は吉川チームが昨年に引き続き「V2」を、女子は繁昌チームが初優勝をしました。



女子決勝トーナメント



男子決勝トーナメント



優秀選手賞

- | 女子 | 男子 |
|---------------------|------------------|
| 1. 石橋 和枝 (一般・要) | 1. 大平 進一 (一般・吉川) |
| 2. 高柳恵美子 (一般・小貴) | 2. 森坂 政行 (高校・武田) |
| 3. 河野アケミ (K・B・C・高校) | 3. 石崎 光春 (中学・行戸) |
| 4. 高橋三千子 (高校・繁昌) | 4. 鈴木 賢一 (一般・武田) |
| 5. 小笹 明美 (中学・繁昌) | 5. 浅野 雄二 (高校・小貴) |
| 6. 小沼 昭子 (中学・吉川) | 6. 平山 竹伸 (高校・吉川) |

公民館活動に参加しよう

昨今、人々を取巻く社会環境は、生活の変化等によってそれぞれの興味や関心、考え方などが多様化してきており「真の豊かさ」の追求が課題であり、社会教育(行政)に寄せられる期待の大きさを痛感する次第です。

社会教育の本来は、ひとりひとりが心身共に健康で社会条件の変化に適応しながら、物心両面にわたって豊かな生活ができるようになることであると思います。

公民館の

目的は、住民のために実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上健康の増進、情操の純化を図り生活文化の振興、社会福祉に寄与することを目的とします。

事業は、目的達成のためにおむね次の事業を行います。

- ◎定期講座 家庭教育学級、婦人学級、青年教室、手芸、くみひも、着付け、創作、自然観察、料理、陶芸、作法、史跡めぐり、民謡、生花の各講座
- ◎単発事業 スキー、キャンプ教室、文化講演会、こども書初め大会、成人式
- ◎図書(読書)活動 図書室の充実をはかりながら図書の計画導入をし、読書グループの育成や感想文コンクール等を開催し活動の振興をはかる

事業推進に当っては、これまでの経験を生かし内容の充実をはかりながら一人でも多くの方が参加できるように取り組んでいきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

母子センターの定例行事

第3月曜日 育児相談(午後)

赤ちゃんのことなら何でもどうぞ!

第3金曜日 妊婦検診(午後)

妊娠から出産まで、心の不安を解消しましょう。

第4月曜日 母子保健教室(午後・公民館和室)

おなかの赤ちゃん元気ですか!

お母さんは!

第4金曜日 一般健康相談(午後)

血圧、体重、尿の検査を行います。

定例行事として毎月行っていますので、気軽においでください。保健婦と栄養士や医師がみなさんの相談に応じています。 ~ 問い合わせは保健衛生課へ ~



給食センターのみなさん毎日どうもありがとうございます

三月四日、津澄小学校四年生の代表が給食センターを訪

ずれ、たくさんの方の学校給食をつくってくれている。おばさんやおじさん達に日頃の感謝をこめて、千羽鶴や作文集を贈りました。

作文集の一部を紹介します。

給食センターのみなさんへ

四年一組 石橋麗子

給食センターのみなさん、いつもおいしい給食ありがとうございます。

わたしは、体が小さいのであるべくたべているのですが、まだ全部たべたのが五回ぐらいしかありません。でも、全部たべようとがんばっています。

わたしたちは、いつものたのしくたべています。これからおいしい給食をつくってください。

給食センターのみなさんへ

四年一組 塚本ますみ

いつも、いつも、おいしい給食をつくってくれるおじさ

ん、おばさんありがとうございます。

私は、いつもおいしいただけの給食が大好きです。みんなとお話をしてたべるきゆうしよくは、とくべつおいしいです。これからもおいしいきゆうしよくをつくって下さい。

私の好きなもの



私は大きらいな、きゆうにゆうがきゆうしよくのおかげで大好きになりました。

給食センターの

おじさん、おばさんへ

四年二組 倉田公之

ぼくは、給食が大好きです。おじさんやおばさんは、ぼくたちの給食を作るのにいつもけんめい栄養のある物を作るのにいろいろとけんきゅうしてくれてありがとうございます。おじさんやおばさんの作ってくれる給食はとってもおいしいです。ぼくは、その中でも肉やごはんやパンなどが好きです。おばさんたちはよくわたしのほかにようちえんや中学校やいろいろな小学校に十二時ごろまでにとどけるのでたいへんでしょうね。

ようちえんに入っているおとも「おばさんたちの作った給食はとってもおいしい」と家で話しています。

ぼくは、ときどきのこす時もあります。でもたいていはのこしません。

おじさんやおばさん体に気をつけてこれからもおいしい給食を作ってください。

給食センターのみなさんへ

四年二組 小沼加代子

給食センターにつとめているおじさんやおばさんたち、いつもおいしい給食を作ってくださいありがとうございます。わたしはいつも楽しく食べています。もし給食をつくってくれる人たちがいなくなったら私は、おべんとうをもっていかなければならないので、おじさんやおばさんがいるだけで本当に助かっています。

でも私達の学校では、給食の残はんが多くてどうもすみません。これからは私だけでもなるべく残さないようにします。だからおいしい物を出してください。でもきれいな物が出た場合は、もしかして残したりするかもしれません。それでもがんばって食べようと思います。

給食を作っている人たちは、七つの学校の食べる物を作っているのだから大きなべんかで作ってすぐ大変だと思います。

でもそんなことは気にしないでどんどんおいしい給食を出してください。

短いけれどもこれで終わりにします。みなさんがんばってください。



あとがき

○最近「家庭内暴力」が社会問題となつています。家庭教育はどうあるべきか——その役割とあり方について、一度よく考えてみたいものです。

○霞ヶ浦・北浦の水質浄化作戦が展開されています。一人ひとりの手できれいな湖にしましょう。

○行政・コミュニティアンケート（農家を対象）のご協力ありがとうございます。集計及び具体的な検討に入っています。